



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和2年7月第2回市長定例記者会見

- ・日時 令和2年7月13日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 「新しい生活様式の啓発×プラゴミ削減」をコラボした
オリジナルエコバックを作成し全世帯に配布します(資料1)
- 2 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設・運営の基本的な考え方を
反映した新たな運営マニュアルの策定及び訓練の実施について(資料2)
- 3 「これからの都市計画と公共交通に係る住民説明会」を開催します(資料3)

その他資料提供

- ・地元渋川工場見学バスツアーを開催します(資料4)
- ・市有地を売却します(資料5)
- ・ボランティアの手作りマスクによる介護保険施設応援活動の施設訪問内容をお知らせします(資料6)

○次回開催予定 7月第3回市長定例記者会見
日時：令和2年7月20日(月)午後1時～
場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
7月13日(月)	7:20	夏の県民交通安全運動車両広報	北橘地区	市民協働推進課 秘書室
	9:00	庁議	庁議室	
	13:00	記者会見	記者会見室	
	14:00	第19回政策戦略会議	庁議室	
7月14日(火)	7:20	夏の県民交通安全運動車両広報	赤城地区	市民協働推進課 秘書室
	9:00	第20回政策戦略会議	庁議室	
	13:00	第21回政策戦略会議	庁議室	
	14:30	渋川・吾妻地域在来線活性化協議会総会	大会議室	
7月15日(水)	10:00	行政委員会・地方分権改革検討会議合同会議	全国都市会館	秘書室
	13:00	全国市長会議理事・評議員合同会議	全国都市会館	
7月16日(木)	7:30	夏の県民交通安全運動車両広報	伊香保地区	市民協働推進課 広域組合 介護保険課 市民協働推進課 スポーツ課
	10:00	広域組合議会:7月臨時会	勤労福祉センター	
	14:30	ボランティアの手作りマスクを介護保険施設へ贈呈	市内施設	
	16:00	国民平和大行進渋川地域引継ぎ式	第二庁舎屋上駐車場	
	18:30	渋川市スポーツ協会表彰式	金島ふれあいセンター	
7月17日(金)	7:15	夏の県民交通安全運動車両広報	子持地区	市民協働推進課
7月18日(土)	9:00	ドライブマルシェ	本庁舎駐車場	農林課 秘書室
	13:00	「まちづくりとグローバル・コミュニケーション」オンライン講義	記者会見室	
7月19日(日)				
7月20日(月)	7:30	夏の県民交通安全運動車両広報	渋川地区	市民協働推進課 秘書室
	9:00	庁議	庁議室	
	13:00	記者会見	記者会見室	
	14:30	第22回政策戦略会議	庁議室	

資料1

担当：市民環境部環境政策課 課長 内田 貞徳 電話0279-22-2114 内線1140

「新しい生活様式の啓発×プラゴミ削減」をコラボしたオリジナルエコバッグを作成し全世帯に配布します

新型コロナウイルス感染予防対策に向けた国が示す「新しい生活様式」を市民に具体的にイメージしてもらえるように、日常生活の中で取り入れてもらいたい実践例をイラストにし「新しい生活様式の啓発」と「プラゴミ削減」という2つの『今私たちが守っていくこと』をコラボさせた市オリジナルのエコバッグを作成し、全世帯に配布します。

1 目 的

東京を中心に、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、コロナと共存した新たな日常を送るためにも、「身体的な距離の確保」や「マスクの着用」、「手洗い」など、市民一人ひとりが、日常生活の中で「新しい生活様式」を心がけていくことがより大切となっています。

また、7月1日から、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの課題を解決するため、全国でプラスチック製買い物袋のレジ袋が有料化となりました。

「新しい生活様式の啓発」「プラゴミ削減」という2つの『今私たちが守っていくこと』をコラボさせた市オリジナルのエコバッグを作成し、全世帯に配布することにしました。

オリジナルエコバックをより多くの皆さんに利用していただくことで、私たちが抱える新型コロナウイルス感染予防対策、環境問題にも目を向けていただき、ライフスタイルを見直すきっかけとなることを期待しています。

2 作成する物品

「新しい生活様式の啓発×プラゴミ削減」をコラボしたオリジナルエコバッグ
※内ポケット収納型折りたたみバッグ

3 サ イ ズ

- (1) 使用時 巾350mm×丈400mm×片マチ65mm
- (2) 収納時 巾140mm×130mm

4 作 成 数 35,000枚

5 配布対象者 全世帯

6 配布時期・方法 10月1日号広報紙と一緒に配布(予定)

7 その他 予算については6月25日の一般会計補正予算(第7号)で措置済み

担当：危機管理室 室長 斉藤 章吉 電話0279-22-2130 内線2180

新型コロナウイルス感染症に対応した 避難所開設・運営の基本的な考え方を反映した 新たな運営マニュアルの策定及び訓練の実施について

新型コロナウイルス感染症の感染が続く中であっても、水害や台風、地震など災害時における備えを行う必要が生じていることから、「コロナと共存した新たな避難所運営マニュアル」を策定しました。マニュアルの策定に当たり、6月11日に実施した避難所開設・運営訓練の実施結果を反映させると共に、「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設の基本的な考え方」を整理しました。これにより、新たに3つの体育館を指定避難所に追加します。

また、避難所運営マニュアルを実際に訓練するため、各地区に分かれ「密」を避けた新しい生活様式による防災訓練を行います。

1 概 要

梅雨時期の水害や台風への対応、また、いつ発生するか分からない地震など、新型コロナウイルス感染症の感染が続く中であっても災害時における備えを行う必要が生じています。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた避難所の開設を行う必要があることから、「コロナと共存した新たな避難所運営マニュアル」を策定しました。

策定にあたっては、令和2年6月8日付で内閣府から発出された「新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設・運営ガイドライン」を受け、古巻小学校で令和2年6月11日に実施した避難所開設・運営訓練の実施結果を反映させると共に、新たに「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設の基本的な考え方」を次のように整理しました。これにより、新たに3つの体育館を指定避難所に追加します。

また、新たに策定した避難所運営マニュアルを実際に訓練するため、各地区に分かれ「密」を避けた新しい生活様式による防災訓練を行います。

2 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設の基本的な考え方

- (1) 「3密」を防ぐため収容人数をこれまでよりも減らす
- (2) 開設した避難所では、新型コロナウイルス感染症に対する対策をしっかりと講じる
- (3) 避難所の入り口において体調の確認を行い、感染リスクの削減を図る

3 上記2の基本的な考え方を受けた具体的な対応について

(1) 「3密」を防ぐため収容人数をこれまでよりも減らす

①指定避難所を追加することで、これまでの各避難所の収容人数を減ずる。

具体的には、次の3施設を新たに指定避難所に追加する。

- ・ 渋川市総合公園体育館（渋川市渋川）：面積 1,942m²（385人）
- ・ 赤城スポーツセンター（渋川市赤城町）：面積 1,720m²（340人）
- ・ 渋川市小野上体育館（渋川市村上）：面積 600m²（120人）

	現 行		コロナ対策後
指定避難所数	48カ所		51カ所
収容可能人数	2.5m ²	23,887人	12,635人
（下段はコロナ対策後）	5.0m ²	11,790人	

②指定避難所が学校であった場合、体育館を避難場所として使用します。なお、災害の状況により、やむを得ない場合には、多目的教室や普通教室の借用について学校長と協議します

(2) 開設した避難所では、新型コロナウイルス感染症に対する対策をしっかりと講じる

①受付でのフェイスシールド、マスクの着用

②避難所内での定期的な換気や共有スペースの消毒などを徹底

③避難所内では新しい生活様式を基本とする（マスクの着用、ソーシャルディスタンスなど）

④「密」になることを避けるため、これまで入り口で実施していた避難者名簿一覧表の作成を避難スペース誘導後に変更する

⑤体調の悪い人はプライバシーテント内に案内をし、健康な人との接触リスクを減らす

(3) 避難所の入り口において体調の確認を行い、感染リスクの削減を図る

①避難所入口に、感染者等との接触疑い及び渡航歴等の確認チラシを掲示する

②体調確認のスクリーニングを行うため、1カ所2名で行っていた受付業務を、事前受付2名、本受付（通常者・発熱者）各1名の3カ所4名に増やす

③事前受付で、消毒、検温を行い、結果を健康状態問診票に記入する

④健康状態問診票の結果を受け、本受付を通常者、発熱者の2カ所に分ける

4 新型コロナウイルス感染症に対応した新たな避難の考え方を整理

(1) 「分散」の考え方により、状況に応じ自宅に留まる「在宅避難」も選択肢に追加する

(2) 避難所における車中泊についても一定の対策を講じた上で選択肢に追加する

(3) 災害救助法が適用された場合は、伊香保温泉旅館協同組合との協定に基づき、ホテル・旅館を要配慮者の避難所とする

5 令和2年6月11日に実施した避難所開設・運営訓練の実施結果の反映

- (1) 受付に時間がかかった→受付箇所の増加、問診票の質問項目の減
- (2) 自主防災リーダーの役割が分かりにくかった→自主防災リーダーの役割を明記

6 新たに策定した避難所運営マニュアルによる防災訓練の実施

- (1) 各地区の自治会連合会会議で、主旨説明、開催期日等を決定
 - ア 渋川地区4カ所、伊香保地区1カ所、小野上地区1カ所、子持地区1カ所
赤城地区1カ所、北橘地区1カ所（計9カ所）
- (2) 各地区の体育館等を使用し訓練を実施
 - ア 訓練は1時間から1時間30分程度を予定
 - イ 受付担当職員、自治会役員、施設管理者、自主防災リーダーに参加
 - ウ 内容は、マニュアルに沿った流れで設営までの訓練を実施
 - エ 参加者と意見交換会を行い、必要に応じマニュアルに新たに必要な対策を追加

資料3

担当：建設交通部都市政策課 課長 松田 忠義 電話0279-22-2073 内線4790
建設交通部交通政策課 課長 西脇 正悟 電話0279-22-2264 内線4781

「これからの都市計画と公共交通に係る住民説明会」を開催します

本市では、拡散型の都市構造から集約型の都市構造へ転換を図り、持続可能なまちづくりを目指すため、様々な計画の策定や現行計画の見直しを行っています。市民の皆さんにこれらの計画内容について説明し、これからのまちづくりと一緒に考える機会とするため、住民説明会を市内9か所で開催します。

これからの都市計画と公共交通について一体的に住民説明会を行うのは、本市では今回が初めてとなります。

1 目 的

本市では、拡散型の都市構造から集約型の都市構造への転換を図り、長期的に人口減少が見込まれる中でも持続可能なまちづくりを目指すため、様々な計画の策定や現行計画の見直しを行っています。

今回、市民の皆さんにこれらの計画内容について説明し、これからのまちづくりと一緒に考える機会とするため、住民説明会を開催します。

2 日時及び会場

地 区	開催日	時 間	会 場
小野上地区	7月27日(月)	午後7時 ～9時	小野上公民館
伊香保地区	7月28日(火)		伊香保公民館
赤城地区	7月29日(水)		赤城公民館
豊秋地区	7月30日(木)		豊秋公民館
古巻地区	8月3日(月)		古巻公民館
子持地区	8月4日(火)		子持公民館
渋川地区	8月5日(水)		渋川市民会館
北橘地区	8月6日(木)		北橘公民館
金島地区	8月7日(金)		金島公民館

3 内 容

(1) 渋川市の都市計画

① 渋川市都市計画マスタープラン（改定案）

平成24年度に策定した本市の都市計画の基本的な方針であるマスタープランの概要と改定案のポイントを説明します。

② 渋川市立地適正化計画（案）

集約型都市構造への転換を図り、持続可能なまちを目指すため、適切なエリアに居住及び都市機能の立地を誘導するとともに、公共交通の効率的なネットワーク化を図ることにより「まちのまとまり」を形成する計画案のポイントを説明します。

③ 都市計画（土地利用規制と都市計画道路）の見直し（案）

昨今の社会経済情勢を踏まえた土地利用規制及び都市計画道路の見直し案のポイントを説明します。

(2) 渋川市の公共交通

① 渋川市地域公共交通網形成計画の基本方針（案）

地域公共交通に関する本市の現状及び課題の整理を踏まえて、公共交通ネットワーク全体を一体的に形づくり、持続させることを目的に、地域全体の公共交通の在り方、住民・交通事業者・行政の役割を定める計画の基本方針案のポイントを説明します。

4 そ の 他

- ・ どなたでも参加できます ※申込み不要
- ・ 市民の周知として、広報しぶかわ7月15日号に関連記事を掲載します
- ・ 座席の間隔を十分に空けるなど、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して開催します

資料4

担当：産業観光部商工振興課 主幹 樋口 孝行 電話0279-22-2596 内線4894

地元渋川工場見学バスツアーを開催します

1 目 的

市民が渋川市内の工場などを見学する機会を設けることで、市内企業を知っていただくとともに、本市の魅力を体験し、ふるさと渋川を愛する人を育てようとする取り組みです。

渋川市に住んでいる方でも市内にどのような企業や工場があつて、どのような製品が作られているのか知られていない、また、企業や工場があることは知っていても、その中を見る機会はありませんのではないかと考えたことから、小中学生の夏休み期間中に家族で参加できるバスツアーを企画しました。

なお、参加は小中学生のいる世帯に限るものではありません。

2 内 容

市有マイクロバスを利用し、市内の工場を見学するツアーを実施します。

3 見学先工場

(株)昭和食品渋川工場と小池化学(株)赤城工場の2社

4 日 時 令和2年8月20日(木)午前10時～午後3時

5 募集定員 20人(応募が定員を超えた場合は抽選)

6 参 加 料 無料

7 申込方法

商工振興課に電話(0279-22-2596)または窓口(第二庁舎)で受け付けます。

8 申込期限 令和2年8月5日(水)

9 そ の 他

- (1) 募集の詳細は、別紙募集チラシのとおり
- (2) 広報しぶかわ7月15日号に関連記事を掲載予定

10 主 催 渋川市

参加者募集!!

渋川市で作られているの知っていましたか?



地元渋川工場見学バスツアー

参加費無料

市内工場への見学ツアーを企画しました。

やきとりなどの食料品を製造する「昭和食品渋川工場」とスプレー製品などを製造する「小池化学赤城工場」の2カ所を見学させていただけることになりました。

なかなか見ることのできない製造工程などを知ることのできる良い機会ですので、ぜひ参加ください。

とき 8月20日(木) 午前10時



市役所本庁舎駐車場集合出発(午後3時帰着予定)

行先 (株)昭和食品渋川工場
渋川市中郷

小池化学(株)赤城工場
渋川市赤城町長井小川田

対象 どなたでも **定員** 20名

お申し込みにあたって…

- 中学生以下のお子さんには必ず保護者が同行してください。
- 道の駅こもちで昼食時間を設けます。
- 昼食は各自でご用意ください。
- 感染症対策のため、マスク等の装着をお願いします。
- 参加当日体温等を計測させていただきます。



【申込み】 市商工振興課に電話(22-2596) または 窓口まで
受付時間: 開庁日の午前8時30分~午後5時15分

【申込期限】 8月5日(水)

※申込み多数の場合は抽選とします。当選者のみに通知でお知らせします。

資料5

担当：総務部財務課 課長 角田 義孝 電話0279-22-2150 内線2150

市有地を売却します

1 趣 旨

市が保有する未利用地について、以下のとおり、一般競争入札及び公募抽選による売払いを実施します。

2 一般競争入札による売払い

(1) 土地の概要

物件番号	所在地	地目	地積	最低売払価格
1	渋川市金井字原1195番1	宅地	5,826.77㎡	39,855,000円
2	渋川市金井字原1195番6	宅地	244.84㎡	3,437,000円

※外周道路（幅員6～9mの舗装道路）整備済み

※渋川市立渋川西小学校まで約650m（直線距離）

※渋川市立渋川北中学校まで約700m（直線距離）

※物件番号2については、平坦地

(2) 売払いスケジュール

①申込期間 令和2年7月14日（火）～9月30日（水）

②入札日時 令和2年10月20日（火）午前10時から

③入札場所 渋川市役所本庁舎 西棟入札室

④関連記事掲載市ホームページのURL

<http://www.city.shibukawa.lg.jp/kurashi/sumai/sumai/p003956.html>

3 公募抽選による売払い

(1) 土地の概要

物件番号	所在地	地目	地積	売払価格
1	渋川市小野子字小野子田1902番1	宅地	333.89㎡	3,439,000円
2	渋川市小野子字小野子田1901番5	宅地	271.96㎡	2,774,000円
3	渋川市小野子字小野子田1902番8	宅地	281.69㎡	2,817,000円
4	渋川市小野子字小野子田1901番6	宅地	256.66㎡	2,567,000円

※南向きで平坦地

※敷地内まで上下水道管引込み済み（別途負担金あり）

※渋川市立小野上小学校まで約950m（直線距離）

※渋川市立子持中学校まで約5,400m（直線距離）

(2) 売払いスケジュール

①申込期間 令和2年7月14日（火）～9月15日（火）

②公募抽選日時 令和2年10月6日（火）午前10時から

③公募抽選場所 渋川市役所本庁舎 西棟入札室

④関連記事掲載市ホームページのURL

<http://www.city.shibukawa.lg.jp/kurashi/sumai/sumai/p007482.html>

資料6

担当：スポーツ健康部介護保険課 課長 山田 由里 電話0279-22-2116 内線1230

ボランティアの手作りマスクによる介護保険施設応援活動 の施設訪問内容をお知らせします

1 内 容

令和2年7月第1回市長定例記者会見(7月6日開催)で発表した施設への手作りマスク贈呈について、訪問する施設が決まりましたので報告します。

2 期 日 令和2年7月16日(木)

3 時間及び場所・配布枚数

- (1) 午後2時30分 グループホーム一番星(渋川市半田934-2)・50枚
- (2) 午後3時10分 介護老人保健施設 銀玲(渋川市石原564-1)・100枚

4 対 応 者 市長及びマスクを作成したボランティア

5 担当部署 スポーツ健康部介護保険課健康寿命推進係

参考

市では、高齢者の社会参加、地域貢献活動を推進し、自身の介護予防・健康増進に繋げることを目的とした「介護予防おうえんポイント事業」を実施しています。この事業は、介護保険施設や各種事業でのボランティア活動に対し、ポイントを付与し、交付金と交換する有償ボランティア制度です。事業の登録者が、介護保険施設や市が主催・共催する事業でボランティア活動を行うとポイントが貯まります。ポイントは、翌年度に交付金と交換することができます。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、地域での活動が制限されていました。また、一方で、感染拡大が続くなか、介護現場で高齢者のために働く人への感謝を伝えたいと考えていました。

そこで、手作りマスクの作成を「介護予防おうえんポイント事業」制度登録者に提案したところ、48名が約1,000枚のマスク作りを行いました。今回、ボランティアが作成したマスクを、介護保険施設に寄贈します。なお、この活動に参加したボランティアには、作成枚数に応じたポイント(マスク2枚で1ポイント、上限10ポイント)を付与します。